

平成30年9月期 第3四半期 決算説明資料



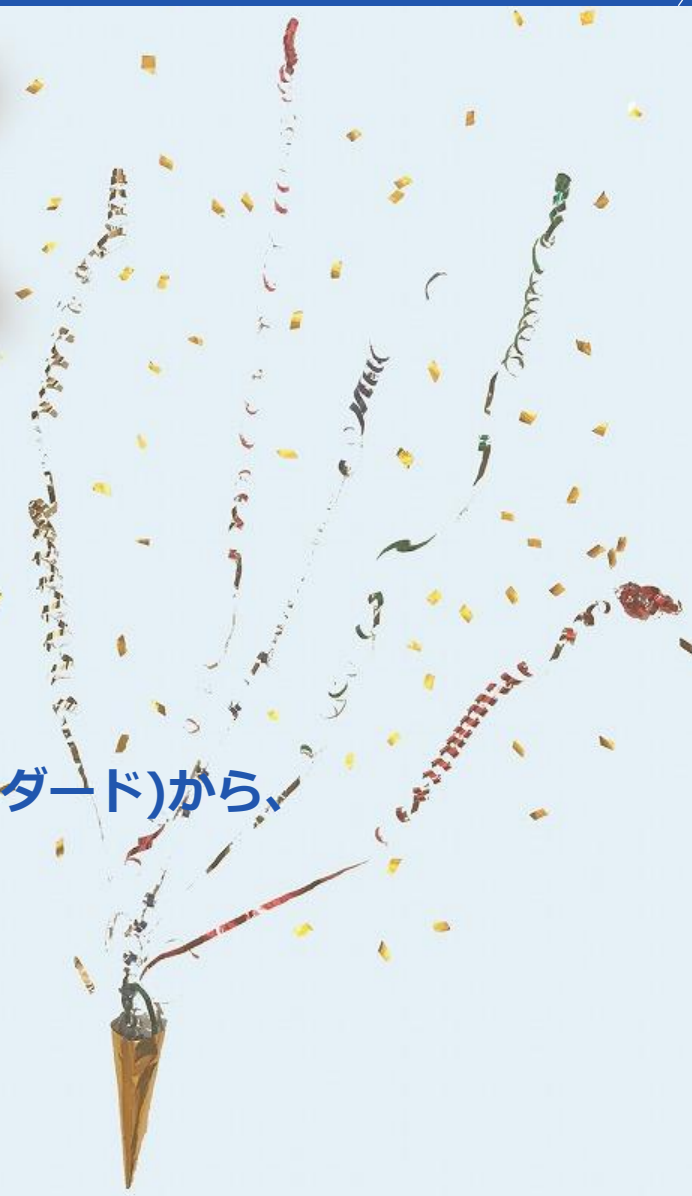
平成30年8月13日
株式会社ニーズウェル

証券コード：3992
東京証券取引所 市場第二部

THANK YOU!

株式会社ニーズウェルは、
平成30年6月28日に 東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)から、
同取引所 市場第二部へ市場変更いたしました。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、
お願い申し上げます。



1. 平成30年9月期 第3四半期決算概況 P4
2. 平成30年9月期 通期業績見通し P10
3. 成長戦略の実施状況 P13
4. 参考資料 P21

1. 平成30年9月期 第3四半期決算概況

前年同期比 売上高微減、経常利益率9.2%

売上高

37億39百万円

(前年同期比 1.6%減)

経常利益

3億43百万円

(前年同期比 10.1%減)

四半期純利益

2億36百万円

(前年同期比 4.8%減)

業績概要

- ・ 今期6月に東証二部市場変更
- ・ 売上の一部期ずれ、人材不足により売上高微減
- ・ 経常利益減は想定内
- ▶▶ 金融系システム開発において、高い金融系業務知識を持った技術者の育成により、新たな金融系案件の獲得と既存顧客との取引が拡大
- ▶▶ 高付加価値案件獲得に加え、生産性向上にも努め、売上総利益率前年同期比1.5ポイント向上
- ▶▶ RPA(業務自動化ロボット)ソリューション「WINACTOR」が引き続き好調

売上高は前年同期比微減だが、 生産性向上等により売上総利益率1.5ポイント向上

金額単位：百万円

	平成29年9月期		平成30年9月期 第3四半期累計期間			
	第3四半期 累計実績	売上比	実績	売上比	前年 同期比	前年同期比の主な増減理由等
売上高	3,801	100.0%	3,739	100.0%	-1.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・売上の一部期ずれ、将来を見越した政策的対応による売上微減 (既存顧客向け技術者を一時的にソリューション・ビジネス立上げに振り向ける、政策的先行対応の実施) ・パートナー要員確保の苦戦による前年同期比減少
業務系システム開発	3,035	79.8%	2,971	79.4%	-2.1%	<p style="text-align: center;">詳細は、次ページ 「サービスライン別売上高実績」をご参照ください</p>
基盤構築	408	10.7%	424	11.3%	3.9%	
組込系開発	281	7.4%	273	7.3%	-2.8%	
ソリューション・商品等売上	76	2.0%	70	1.9%	-7.9%	
売上総利益	808	21.3%	852	22.8%	5.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・既存顧客との取引拡大と新規案件、高付加価値案件の獲得 ・生産性向上による売上総利益率前年同期比1.5ポイント向上
販管費	420	11.1%	498	13.3%	18.4%	<ul style="list-style-type: none"> ・営業力強化のための人員増強による人件費の増加 ・上場維持費用、東証二部市場変更に伴う市場変更費用等の増加
営業利益	387	10.2%	354	9.5%	-8.6%	-
営業外収益	0	0.0%	0	0.0%	1028.3%	-
営業外費用	5	0.1%	11	0.3%	107.4%	東証二部市場変更に伴う新規上場料等の増加
経常利益	382	10.1%	343	9.2%	-10.1%	-
四半期純利益	248	6.5%	236	6.3%	-4.8%	-

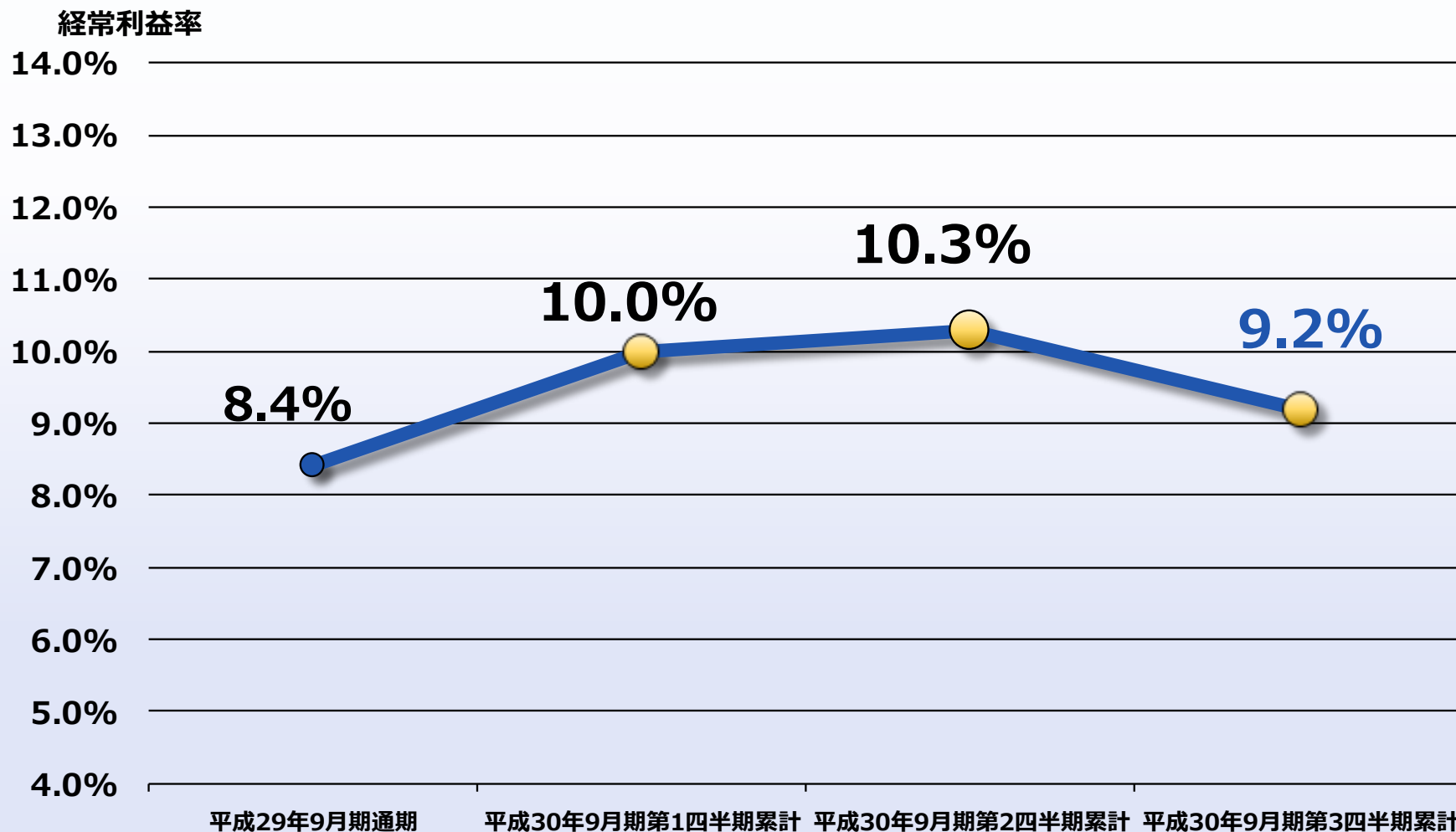
(1) サービスライン別売上高、前年同期比の主な増減理由

	平成29年9月期		平成30年9月期 第3四半期累計期間			
	第3四半期 累計実績	売上比	実績	売上 構成比	前年 同期比	前年同期比の主な増減理由等
業務系 システム開発	3,035	79.8%	2,971	79.4%	-2.1%	売上の一部期ずれ、既存顧客向け技術者を一時的にソリューション・ビジネス立上げに振り向け、政策的先行対応の実施
基盤構築	408	10.7%	424	11.3%	3.9%	業務系システム開発と連携したトータル受注による相乗効果
組込系開発	281	7.4%	273	7.3%	-2.8%	戦略的な受注特化に伴う要員ロスにより横ばい
ソリューション・ 商品等売上	76	2.0%	70	1.9%	-7.9%	・RPAソリューション【WinActor】の受注が好調 ・政策的先行対応によるソリューション売上は、第4四半期以降に寄与 ・大手顧客のシステム機器更新が今期は小規模更新であるための減少
売上高合計	3,801	100.0%	3,739	100.0%	-1.6%	-

(2) サービスライン/主要サービスの状況

サービスライン/サービス	サービスライン/主要サービスの状況
業務系システム開発	
金融	
保険	生保、損保ともに案件が増加し堅調
銀行	メガバンクの大型案件終了でシステムテスト案件が減少したが、開発案件は継続受注。ネットバンク案件に期待
その他	クレジットカード、証券の案件が増加
流通・通信等	通信分野の既存顧客案件が減少したが、他の通信キャリア案件のシステム開発を開始
基盤構築	業務系システム開発の顧客からの受注増で相乗効果を発揮（通信分野の顧客からの受注等で順調に推移）
組込系開発	車載機器、医療機器分野において、戦略的に受注特化を推進
ソリューション・商品等	RPAソリューション【WinActor】好調。自社ソリューション【NWセキュリティポリス】の販売戦略見直し

高い経常利益率で推移



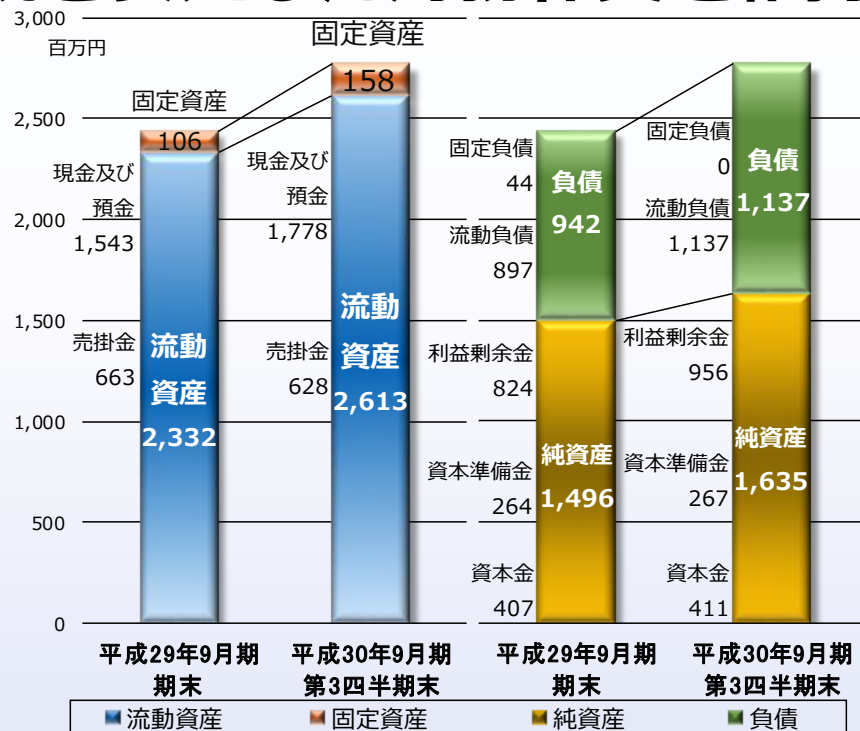
四半期純利益増により、引き続き安定した財務体質を維持

金額単位：百万円

	平成29年 9月期末	平成30年9月期 第3四半期末		
	実績	実績	前期末増減	対前期末増減の主な要因等
資産の部				
現金及び預金	1,543	1,778	235	売上高の増加等
流動資産合計	2,332	2,613	281	-
ソフトウェア仮勘定	0	37	37	基幹システム導入によるもの
固定資産合計	106	158	52	-
資産合計	2,438	2,772	333	-

金額単位：百万円

	平成29年 9月期末	平成30年9月期 第3四半期末		
	実績	実績	前期末増減	対前期末増減の主な要因等
負債の部				
負債合計	942	1,137	194	未払金増加、未払賞与増加等
純資産の部				
株主資本				
資本金	407	411	3	新株予約権行使分の増加
資本準備金	264	267	3	新株予約権行使分の増加
その他利益剰余金				
繰越利益剰余金	823	956	132	四半期純利益等
利益剰余金合計	824	956	132	四半期純利益等
株主資本合計	1,496	1,635	138	-
純資産合計	1,496	1,635	138	-
負債純資産合計	2,438	2,772	333	-



流動資産は26億13百万円、固定資産は1億58百万円、資産合計は27億72百万円となり、前期末比3億33百万円の増加となりました。

これは主に、現金及び預金が増加、基幹システム導入に伴うソフトウェア仮勘定が37百万円増加等によるものであります。

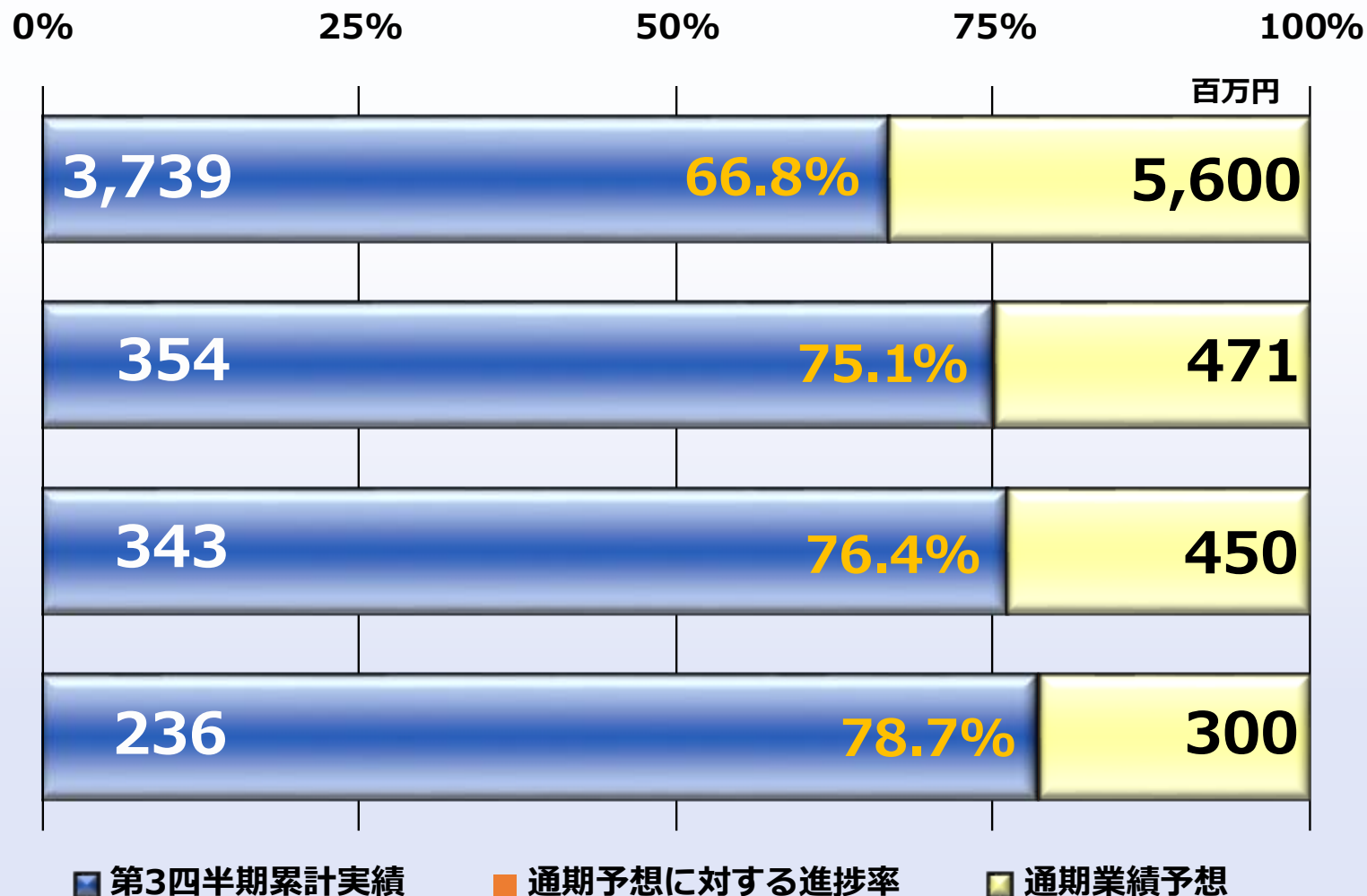
負債合計は11億37百万円、純資産合計は16億35百万円となりました。

これは主に、賞与の7月支給の関係による未払費用が3億円増加、利益剰余金が1億32百万円増加等によるものであります。

この結果、自己資本比率は59.0%となり、引き続き、安定した財務体質を維持しております。

2. 平成30年9月期 通期業績見通し

通期業績予想の修正はありません

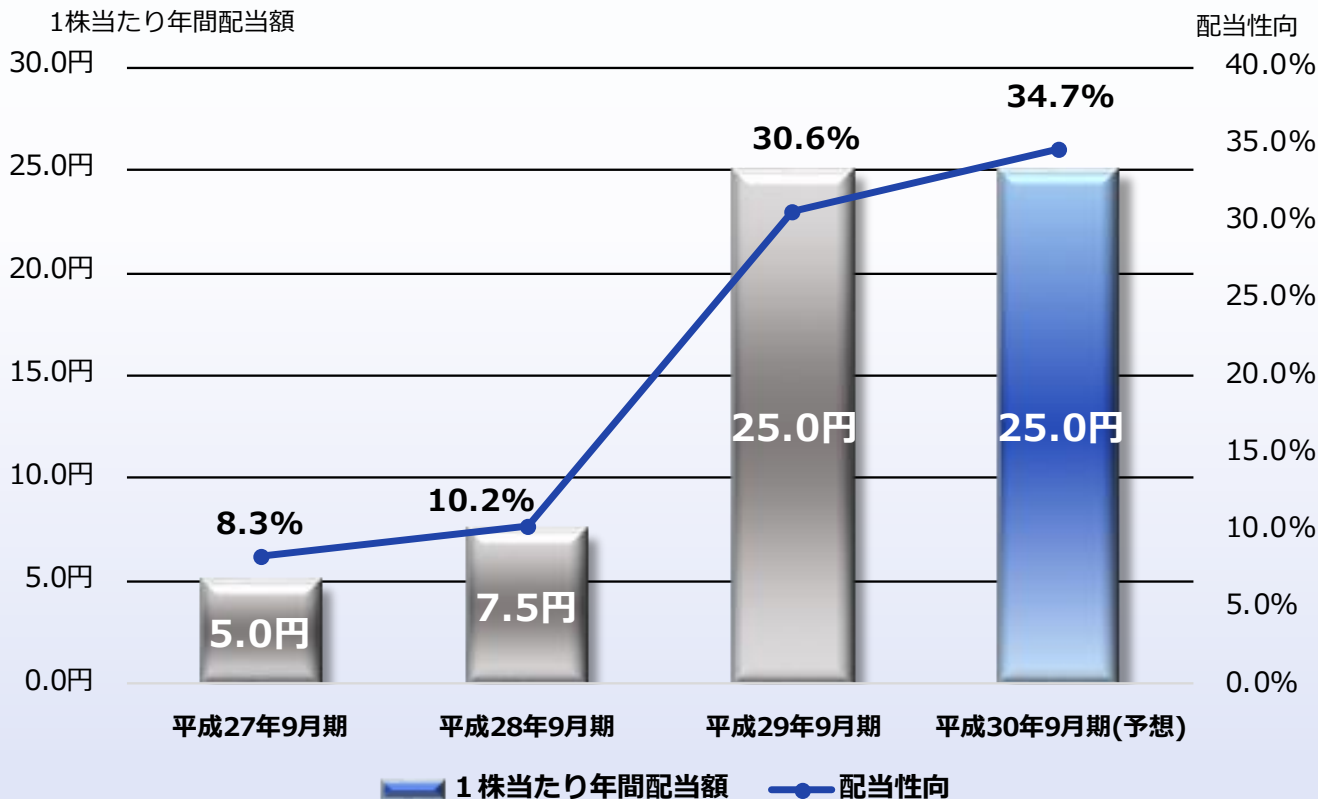


年間配当予想、配当性向予想の変更はありません

⇒ 年間配当予想
25.0円/1株

⇒ 配当性向予想
34.7%

※ 当社は、平成29年5月12日付で1株につき100株の割合で、平成30年4月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
過去の1株当たり年間配当額は、当該株式分割を考慮して算出しております。



当社の利益配分に関する基本方針

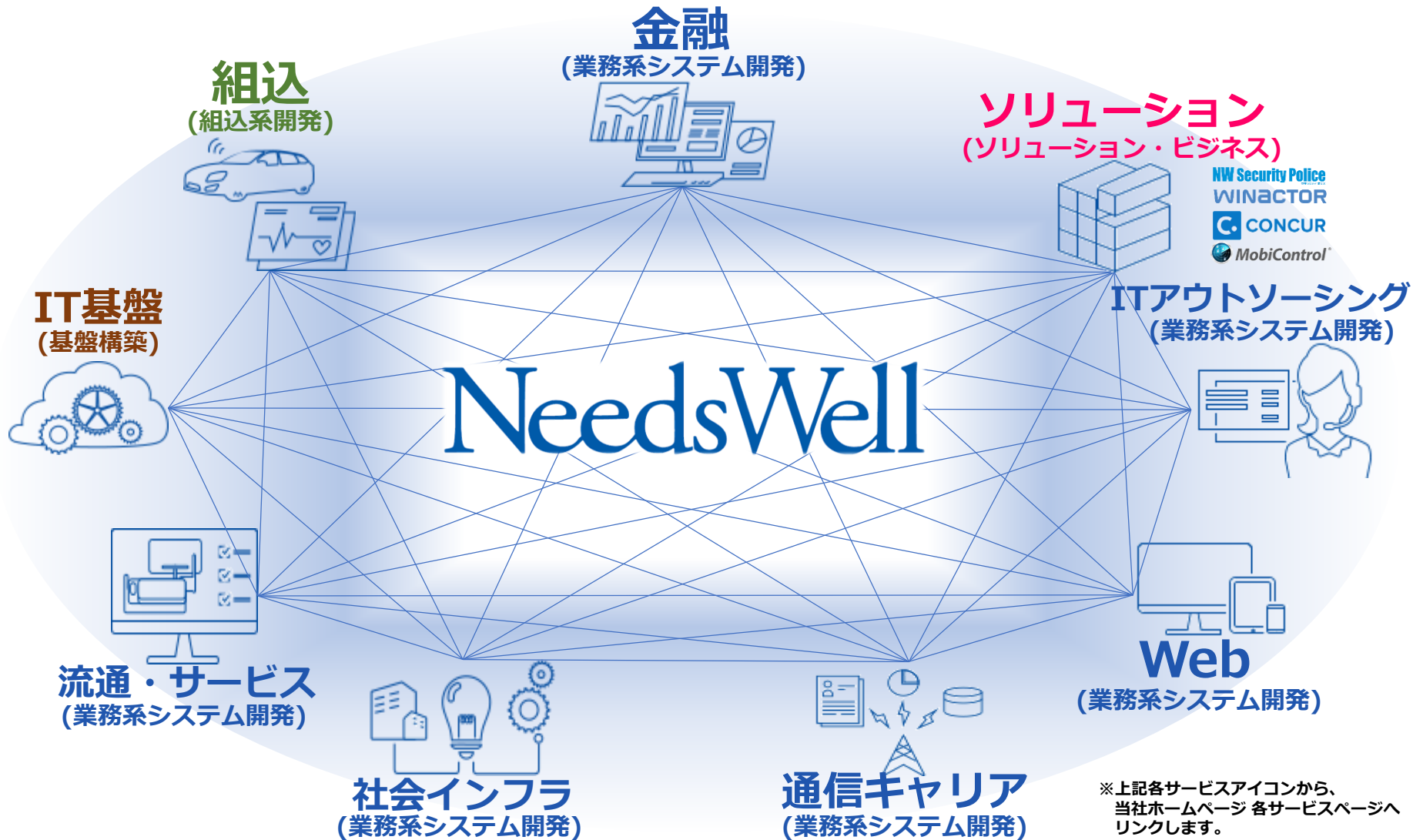
当社は、利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

配当性向は30%を目途に利益還元していく予定であり、当期の年間配当金は1株当たり25.0円を予定しております。

3. 成長戦略の実施状況



当社は、金融系システム開発を中心とした各サービスを展開しております。
これらの各サービスが有機的に結びつき、ITトータルサービスを提供しております。



※上記各サービスアイコンから、当社ホームページ各サービスページへリンクします。

ニーズウェルの強み

金融業界を支えるシステム開発 + エンドユーザーとの直接取引

・金融系システム開発力が高い

当社の収益の中心は、業務アプリケーション、特に金融系の業務システム開発に特化しており、売上高の50%を占めています。

金融系の中でも生命保険・損害保険分野に強みを持ち、銀行・クレジットカード・証券などの領域も多数実績があります。

・エンドユーザー直接取引比率が高い

生命保険会社・大手ホテル・通信キャリアなど、エンドユーザーとの直接取引が売上構成比の45%を占めています。

顧客のビジネスアーキテクチャおよびビジネスフローを的確に捉えて可視化を行い、お客様のニーズに即して幅広い分野で蓄積したノウハウを経営革新の場に活かし、ユーザー視点でのシステム設計を行います。

・幅広い業種・技術の実績と ソリューションサービス力が高い

システム開発20年、取引実績顧客数約300社の実績があり、幅広い業種・技術のシステム開発実績を有しています。

また、自社及び他社のソリューション製品を活用し、顧客のビジネスの目的に合わせた、最適なソリューションサービスを提供いたします。

金融系
システム開発

幅広い業種
技術の実績

成長戦略
の基礎
(強み)

高い
エンドユーザー
直接取引比率

ソリューション
・ビジネス

高品質な
システム構築

(1) 事業基盤の確立

(2) エンドユーザー取引の推進

(3) ソリューション・ビジネス立上げ

3つのサービスラインの安定的な事業基盤確立

- ① 「**業務系システム開発**」における
金融系システム開発に特化(強みの最大化)して売上拡大
→ さらに金融系を拡大するために、業務知識の高い技術者を養成
- ② 「**基盤構築**」において「業務系システム開発」と連携して
トータル受注による相乗効果で売上拡大
- ③ 「**組込系開発**」において拡大する医療機器、自動車関連分野
を中心に売上拡大

エンドユーザー売上構成比45%以上の維持

エンドユーザーとの取引拡大戦略

➤ 既存ユーザーの維持拡大

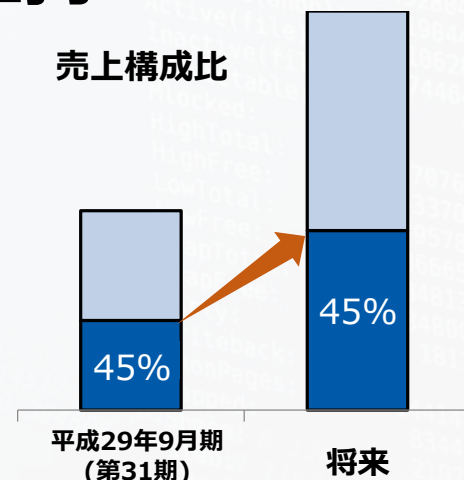
- ・ 継続案件の確保、業務知識の高い技術者の育成による担当分野の規模拡大、担当分野以外の開拓

➤ 新規ユーザーの開拓

- ・ 既存ユーザーと類似する会社へ、開発実績、業務ノウハウ等の紹介による横展開



売上構成比



今期開拓した新規エンドユーザーの主な実績

➤ 生命保険会社

- ・ 既存システムの見直しと新規開発

➤ ペット損害保険会社

- ・ 既存システムの再構築による新規開発

➤ 光学機器メーカー

- ・ 基幹系ユーザID・管理システム
- ・ Webサイト開発 他
- ・ RPA全社展開支援

➤ 化成品メーカー

- ・ 品質管理/生産管理の運用設計 +ドキュメント化

➤ 通信関連企業

- ・ 通信関連企業での基盤構築

➤ 食品製造業

- ・ WinActor導入支援

➤ 銀行(インターネット系)

- ・ システム開発、保守

➤ 小売決済業

- ・ WinActorシナリオ作成支援

➤ 情報機器販売会社

- ・ Concur導入支援

➤ 薬品製造業

- ・ Concur導入支援

自社ソリューション

NW Security Police : 他社セキュリティ製品との連携機能を開発中。
情報セキュリティソリューション
9月末に販売開始予定。

他社ソリューション

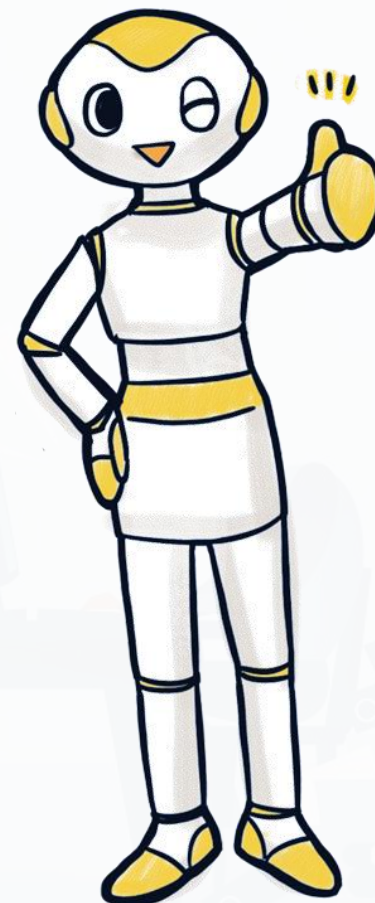
WINACTOR : 銀行、通信、製造業等業界問わず多数の引き合いを受け、累計11社の受注を獲得。
業務自動化ロボット(RPA)
更なる受注獲得に向けて、AI OCR、EAIツールとの連携機能を開発中。
今年10月から販売開始予定。

CONCUR : 導入サポート10数社の実績を踏まえ、情報機器販売会社、薬品製造業から新規受注。
経費精算管理
更なる受注獲得に向け、外資系大手メーカーとの受注連携を商談中。

「働き方改革」を解決する RPA(業務自動化)ソリューション

WINACTOR 受注実績 : **累計11社** (第3四半期で新たに4社)

1. 通信業 A社
2. 計測器メーカー B社
3. 建設業 C社
4. 機械製造 D社
5. 人材派遣 E社
6. 医療機器製造 F社
7. 食品製造G社
8. 素材メーカー H社 *New!*
9. 小売決済業 I社 *New!*
10. 建設業 J社 *New!*
11. 出版会社 K社 *New!*



4. 参考資料

発表日	リンク	タイトル
2018年5月30日	適時開示	株式の立会外分売実施に関するお知らせ
2018年5月31日	適時開示	株式の立会外分売終了に関するお知らせ
2018年6月7日	PR情報	RPA「WinActor」日清食品ホールディングス株式会社へ導入
2018年6月15日	適時開示	役員のパワートラック変更及び人事異動に関するお知らせ
2018年6月21日	適時開示	東京証券取引所市場第二部への市場変更承認に関するお知らせ
2018年6月26日	PR情報	ラジオ日本「こんにちは！鶴時靖夫です」出演のお知らせ
2018年6月28日	適時開示	東京証券取引所市場第二部への市場変更に関するお知らせ
2018年8月9日	PR情報	AI inside株式会社とAI-OCRサービスに関する協業のお知らせ
2018年8月10日	お知らせ	日本証券新聞に社長・船津のインタビュー掲載
2018年8月13日	決算	平成30年9月期 第3四半期決算短信
2018年8月13日	決算	平成30年9月期 第3四半期決算説明資料

※ 当社は株式会社プロネクサスのE-IRサービスを利用しており、リンク先は安全が確保されています。

平成30年6月 東証二部に市場変更

平成29年 9月 東証JASDAQ(スタンダード)に株式を上場
 平成29年10月 ソリューション・ビジネス立上げ

平成25年4月 組込系開発サービスを開始

平成24年10月 基盤構築サービスを開始 / 大手通信キャリアと取引開始

平成17年7月 大手ホテルと取引開始

平成10年4月 大手生命保険会社と取引開始

平成4年8月 業務系システムサービス
開発業務を開始

事業コンサルティング
業務を開始

昭和61年
(1986年)
10月 設立

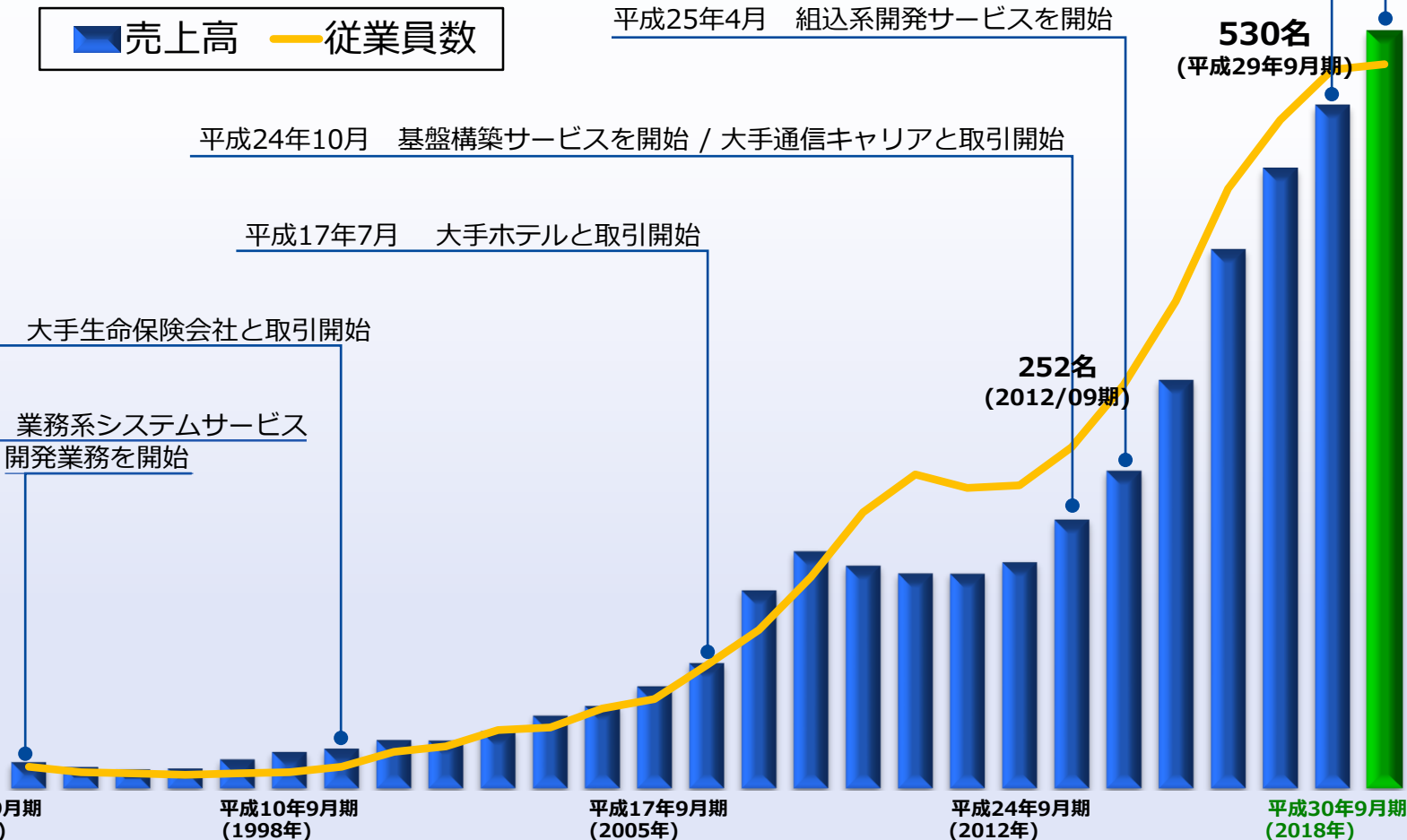
平成4年9月期
(1992年)

平成10年9月期
(1998年)

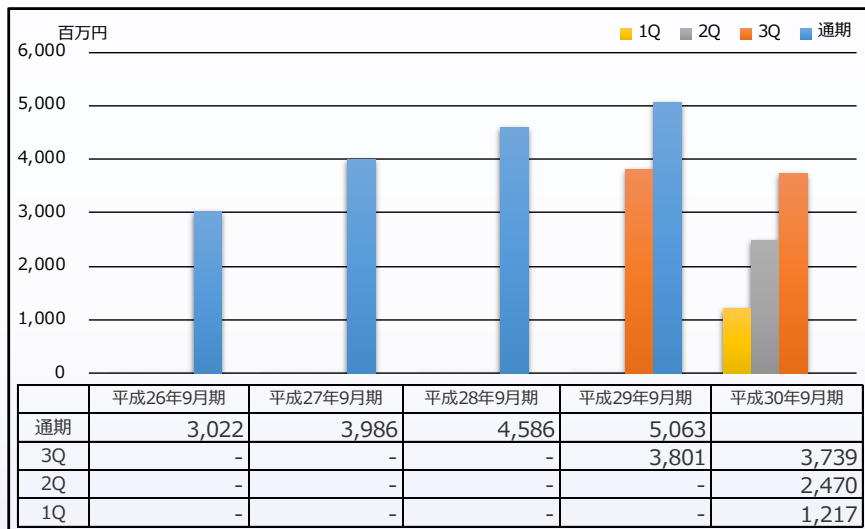
平成17年9月期
(2005年)

平成24年9月期
(2012年)

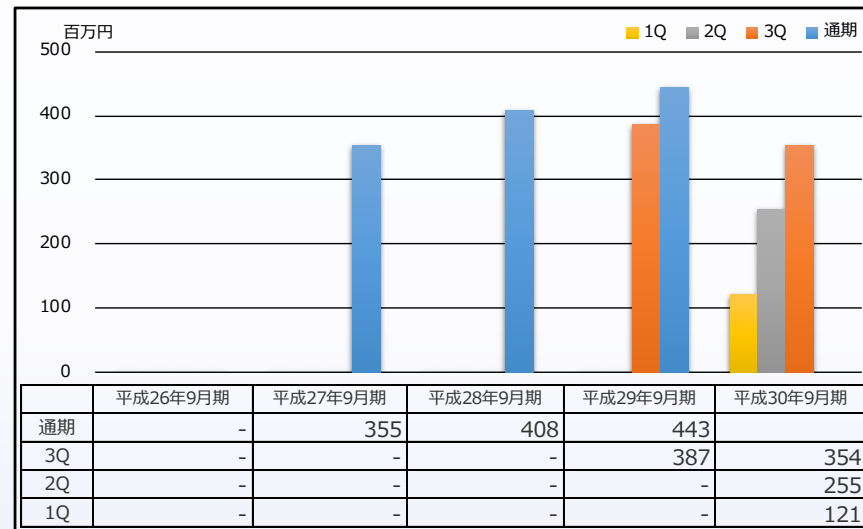
平成30年9月期
(2018年)



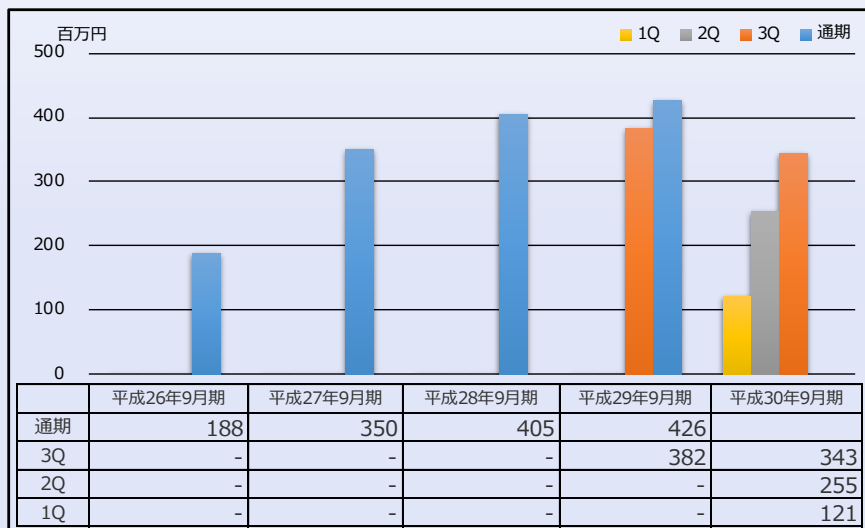
売上高



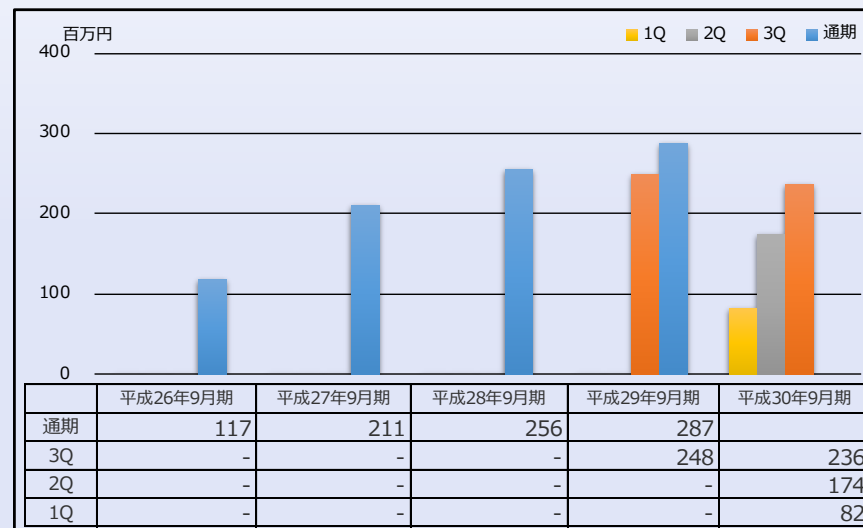
営業利益



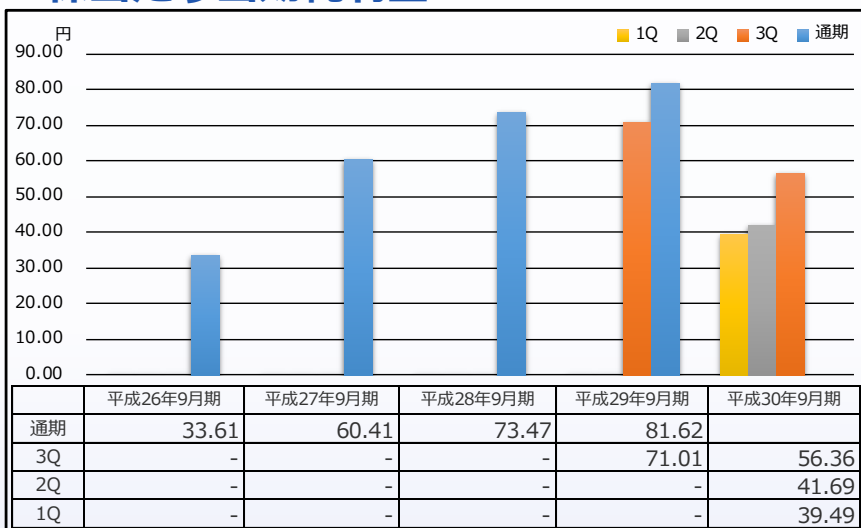
経常利益



当期純利益

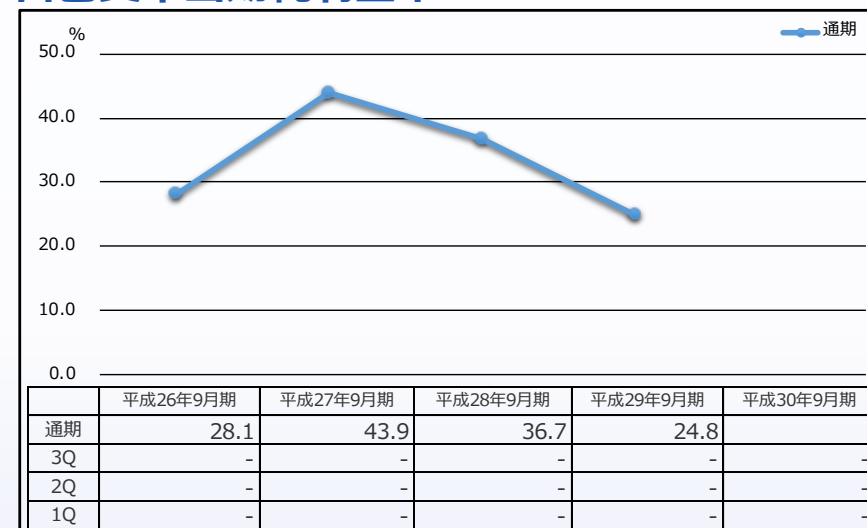


1株当たり当期純利益



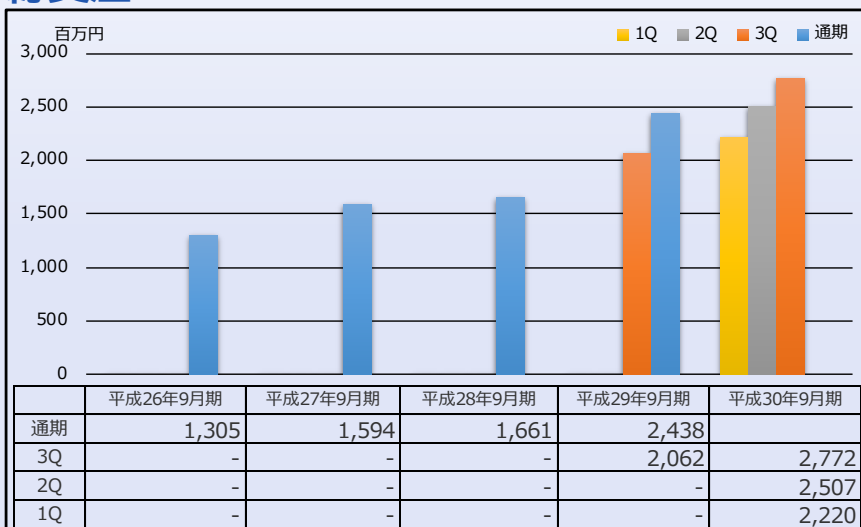
(注)平成29年5月12日付の100分割、平成30年4月1日付の2分割調整後の数値

自己資本当期純利益率

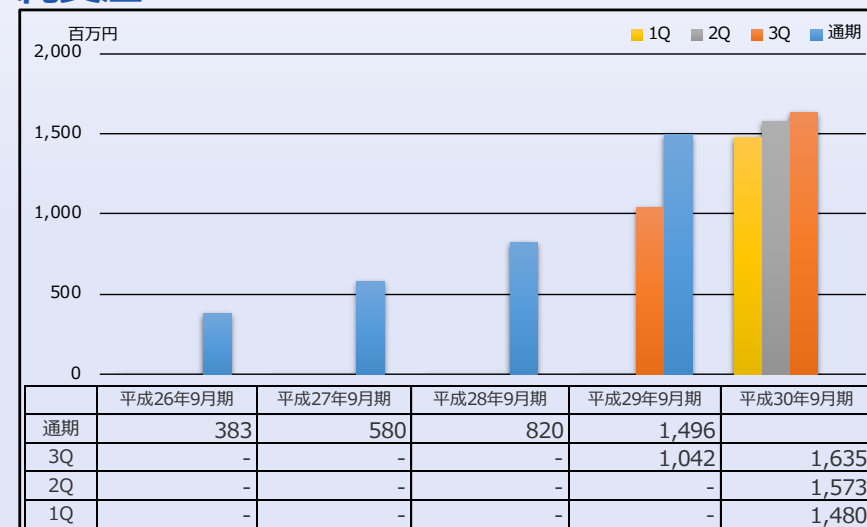


(注)本指標は通期ごとに更新

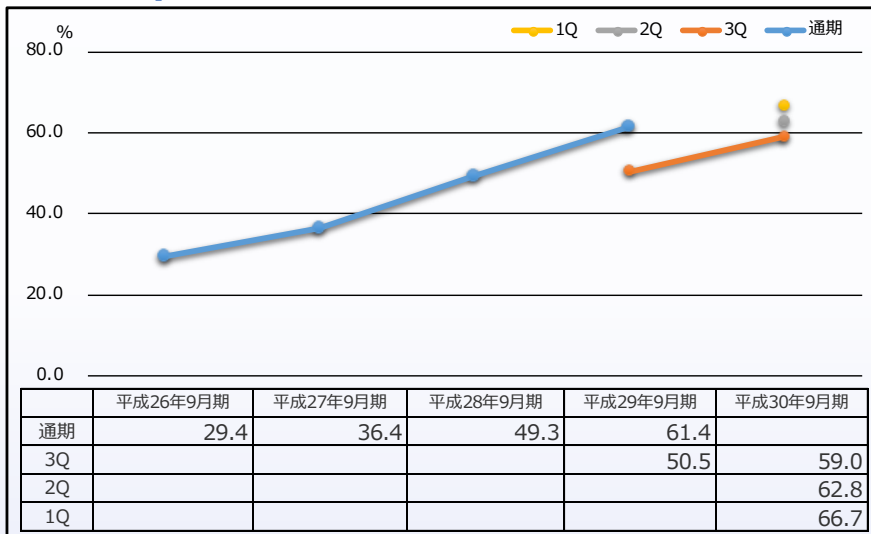
総資産



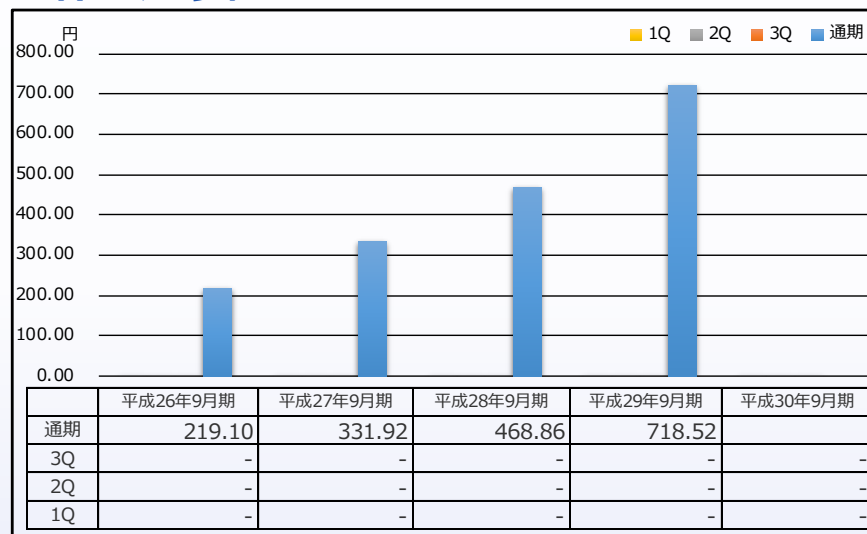
純資産



自己資本比率



1株当たり純資産

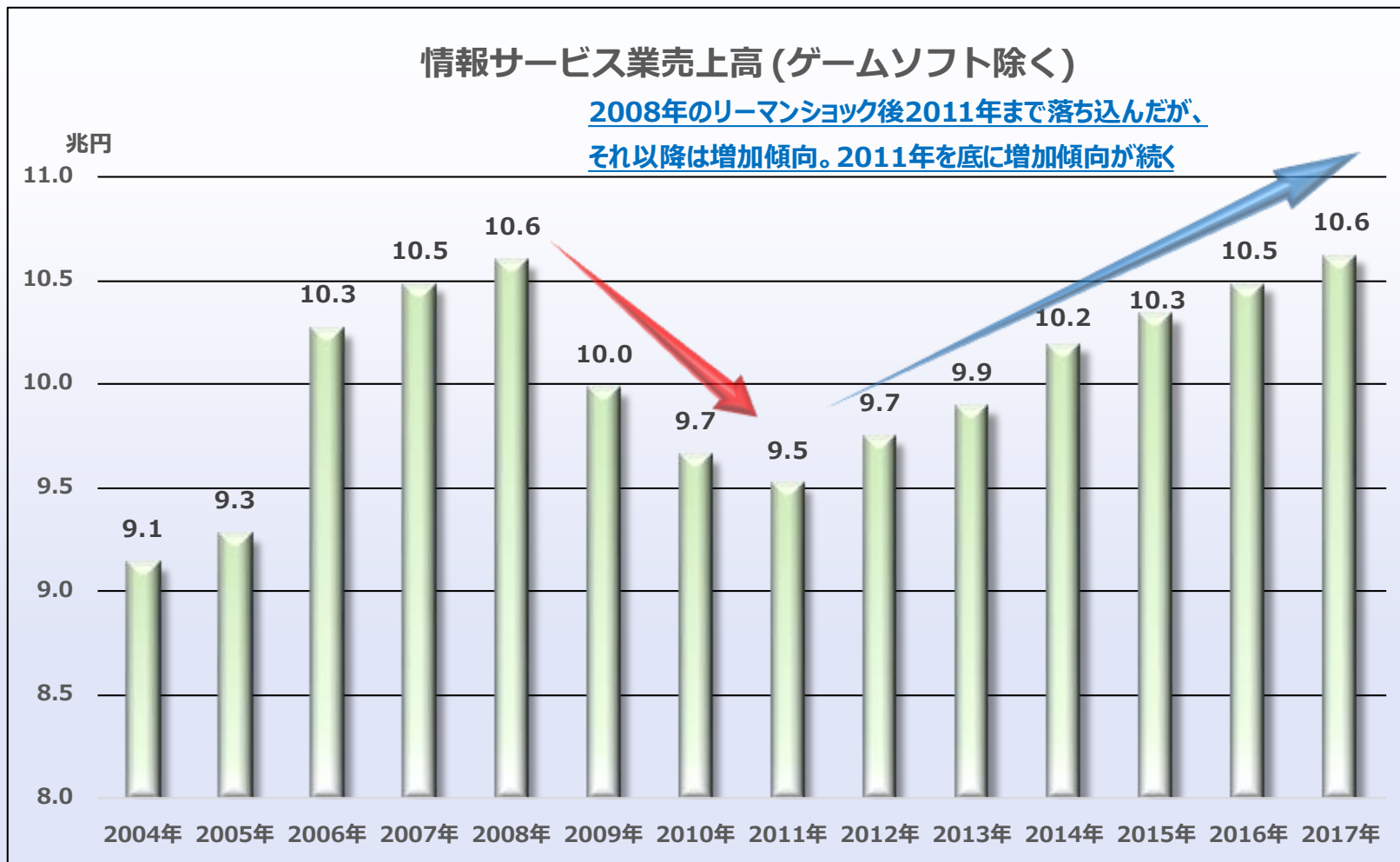


(注)本指標は通期ごとに更新

※第2四半期(2Q)は、第1四半期から第2四半期までの累計情報です。

※第3四半期(3Q)は、第1四半期から第3四半期までの累計情報です。

情報サービス業の市場規模は約10.6兆円(2017年)
 このうち、当社が属するソフトウェア開発・プログラム作成が、約70%の約7兆円超



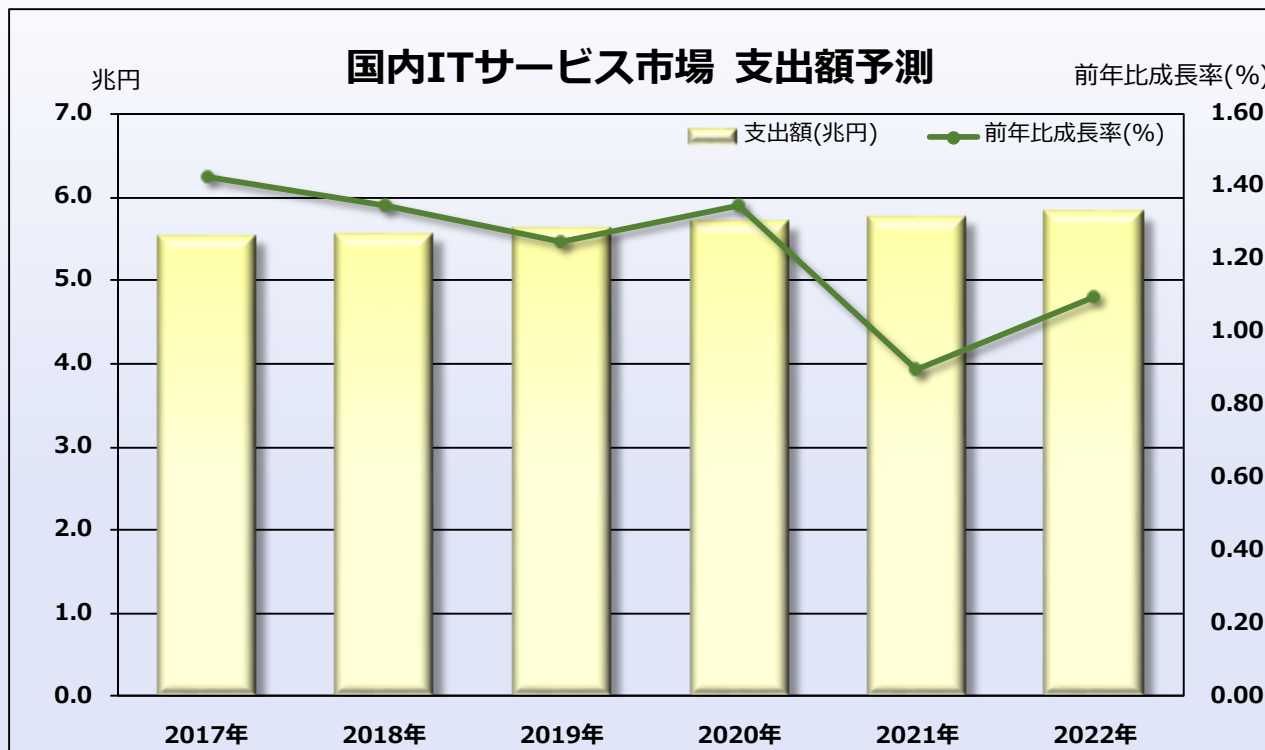
出所：経済産業省「特定サービス産業動態統計」よりゲームソフト売上高を除いた数字で作成。

国内ITサービス市場予測では2022年までの平均成長率は1.1%

当社が属する情報サービス産業(国内ITサービス市場)は、IT専門調査会社のIDC Japan株式会社の調査資料「国内ITサービス市場予測」(平成30年2月26日)によると、製品別に、ハードウェア市場、パッケージソフトウェア市場、ITサービス市場で構成されており、当社事業はITサービス市場に属します。

同社の市場予測資料によると、平成29年(2017年)のITサービス市場の規模は5兆5,389億円と推定され、今後は、クラウド、ビッグデータ、IoT、フィンテックなどの技術革新の進展に伴いIT投資が増加するものと予測され、平成34年(2022年)まで年間平均成長率1.1%で推移するものと予測されます。

この国内ITサービス市場の成長を受け、当社の3つのサービスラインも需要が継続して増加するものと考えています。



出所：IDC Japan株式会社「国内ITサービス市場 支出額予測、2017年～2022年」

NeedsWell

IRに関するお問い合わせ先

株式会社ニーズウェル
総務部 IR担当

TEL : 03-5360-3671

FAX : 03-5360-1658

E-mail : ir-contact@needswell.com

URL : <https://www.needswell.com/>

本資料における注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する予想、計画、戦略などは、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。